

防災道の駅「朝霧高原」の現状

道の駅「朝霧高原」とは

《「道の駅」の概要》

- 設置者：富士宮市 ふじのみや
- 路線名：一般国道139号（直轄）
- 整備形式：一体型
- 管理・運営者：(株)富士山（委託）
- 登録：平成11年8月27日（第15回）
- 供用：平成12年3月27日

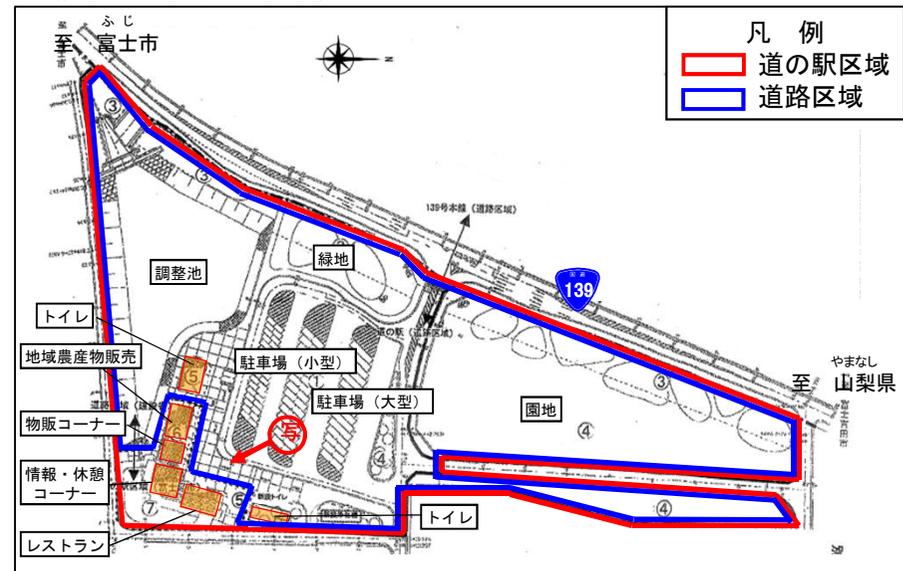
《全景写真》



《位置図》



《平面図》



防災道の駅「朝霧高原」の広域的な防災計画への位置付け等

- 防災道の駅「朝霧高原」は、南海トラフ地震における静岡県広域受援計画において、警察庁の進出拠点に位置付けられ、次期計画にて広域物資輸送拠点(代替拠点)に指定される見込み。
- 施設機能・体制として、概ね充足しているものの、防災倉庫は未整備。

【様式2-1】「防災道の駅」候補 道の駅「朝霧高原」

静岡県

■ 基本情報

設置者 (市町村名)	整備手法	道路種別 (路線名)	駐車場面積【2.(2)②】 (相互利用可能な隣接する駐車場面積)	最寄りIC名 (最寄りICまでの距離)
富士宮市	一体	国道139号	7,340 m ² (0m ²)	新東名 新富士IC (28.4km) 中央道 河口湖IC (24.1km)

■ 計画等への位置づけ【2.(1)】 [凡例:該当「○」、未該当「×」]

広域的な防災計画※1,2への位置づけ		重要物流道路や代替路・補完路の接続
計画名	位置づけ内容	
静岡県地域防災計画	現地ヘリポート (朝霧防災備蓄基地)	直轄国道に接続しており、災害時の役割・機能は重要物流道路 代替・補完路に準ずる。
南海トラフ地震における静岡県広域受援計画	進出拠点(警察庁) 広域物資輸送拠点(代替拠点) ※次期計画指定見込み	

■ 災害ハザードの区域の有無【2.(1)】

災害ハザードの区域有無※3	該当するハザード
有	火山災害(富士山)

※3 該当するハザードマップを別途提出すること

※1 都道府県にて策定した計画(市町村策定の計画ではない)

※2 位置づけ内容がわかる資料を別途提出すること

■ 施設機能・体制 [凡例:整備済「○」、整備予定「△(完了年度)」、未整備「×」]

施設(ハード)【2.(2)①】							体制(ソフト)【2.(2)③】			
耐震化	無停電化	通※信4設備	貯(給)水タンク施設	防災トイレ	防災倉庫	ヘリポート	B※C5P策定	災※害6協定	防災訓練	感染症対策
○	○	○	○	○	△ (R3~R5予定)	○	○	○	○	○

※4 停電時にも使用できる通信機器(個人携帯は除く)がある場合「○」

※5 策定したBCPを別途提出すること

※6 「道の駅」が道路管理者と結んでいる場合「○」

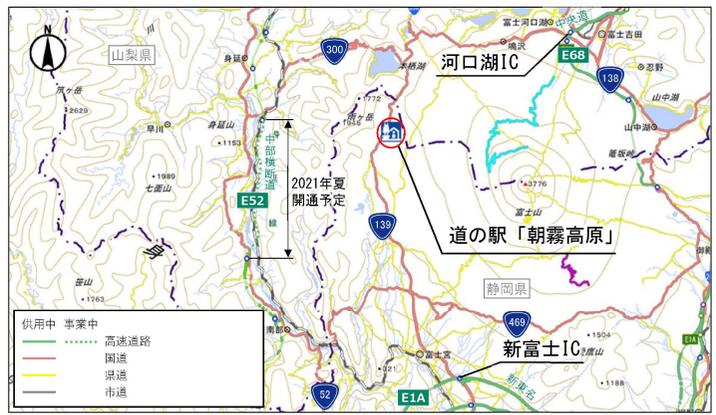
※令和2年10月 中部地方幹線道路協議会(静岡県地区会議)資料

防災道の駅「朝霧高原」の広域的な防災拠点として想定される機能

○防災道の駅「朝霧高原」は、国道139号沿線唯一の広域防災拠点で、中央道・中部横断自動車道のICから概ね30km程度に位置し、山梨方面からの広域応援部隊や救援物資等を受け入れ、被災地へ送り出す役割を担う。

【様式2-2】「防災道の駅」候補 道の駅「朝霧高原」 静岡県

■位置図【2.(1)】



■広域的な防災拠点としての機能と分担範囲【2.(1)】



■施設配置図【2.(2)①、②】



■防災リスクの対応【2.(1)】

火山災害(富士山)ハザード区域内の道の駅であり、火山災害(富士山)発生時には避難が必要ため、防災拠点として使用を想定しない。
火山災害以外のハザード区域内には含まれないため、南海トラフ地震等、他の災害の発災時における防災拠点施設として、トイレの耐震化、通信設備・非常用自家発電設備・防災トイレ(マンホールトイレ)・給水施設の設置等を行っている。

防災道の駅「朝霧高原」における災害に備えた取組

○道の駅「朝霧高原」については、国、富士宮市、(株)富士山の3社が参加した防災訓練を実施。

【様式3】災害時における活動事例 道の駅「朝霧高原」

静岡県

■これまでの活動事例【3. (3)】

令和元年度 道の駅「朝霧高原」防災訓練

- 趣 旨:災害発生時に想定する防災機能が迅速・円滑に機能するために、道路管理者、設置者及び管理・運営者が連携し、職員や利用者の安否確認、施設や資機材の被害確認や操作、情報連絡を実施した。
- 想 定:静岡県中東部で震度5弱の地震が発生。なお、津波は発生しない。
- 日 時:令和2年3月3日(火)14:00~16:00
- 参加者:33名(静岡国道事務所6名、設備点検会社2名、富士宮市3名、(株)富士山22名)

■実施内容

項目	内容
訓練予告の館内放送	・施設利用者への事前告知
開始	・挨拶、参加者の確認、訓練全体のガイダンス
安否確認①	・外出、休暇を含む全従業員と訪問者の安否の確認
設備被災点検②	・道路施設(駐車場、トイレ、休憩・情報提供施設)の確認 ・地域振興施設の確認 ・ライフライン(上下水道、電気、ガス、通信)の確認
被災状況伝達③	・道路管理者及び設置者への連絡
非常用電源立上げ④	・非常用電源装置の起動
災害用トイレ設置訓練⑤	・災害用トイレの設置
終了	・訓練総括、閉会



■安否確認①



■被災状況伝達③



■非常用電源立上げ④

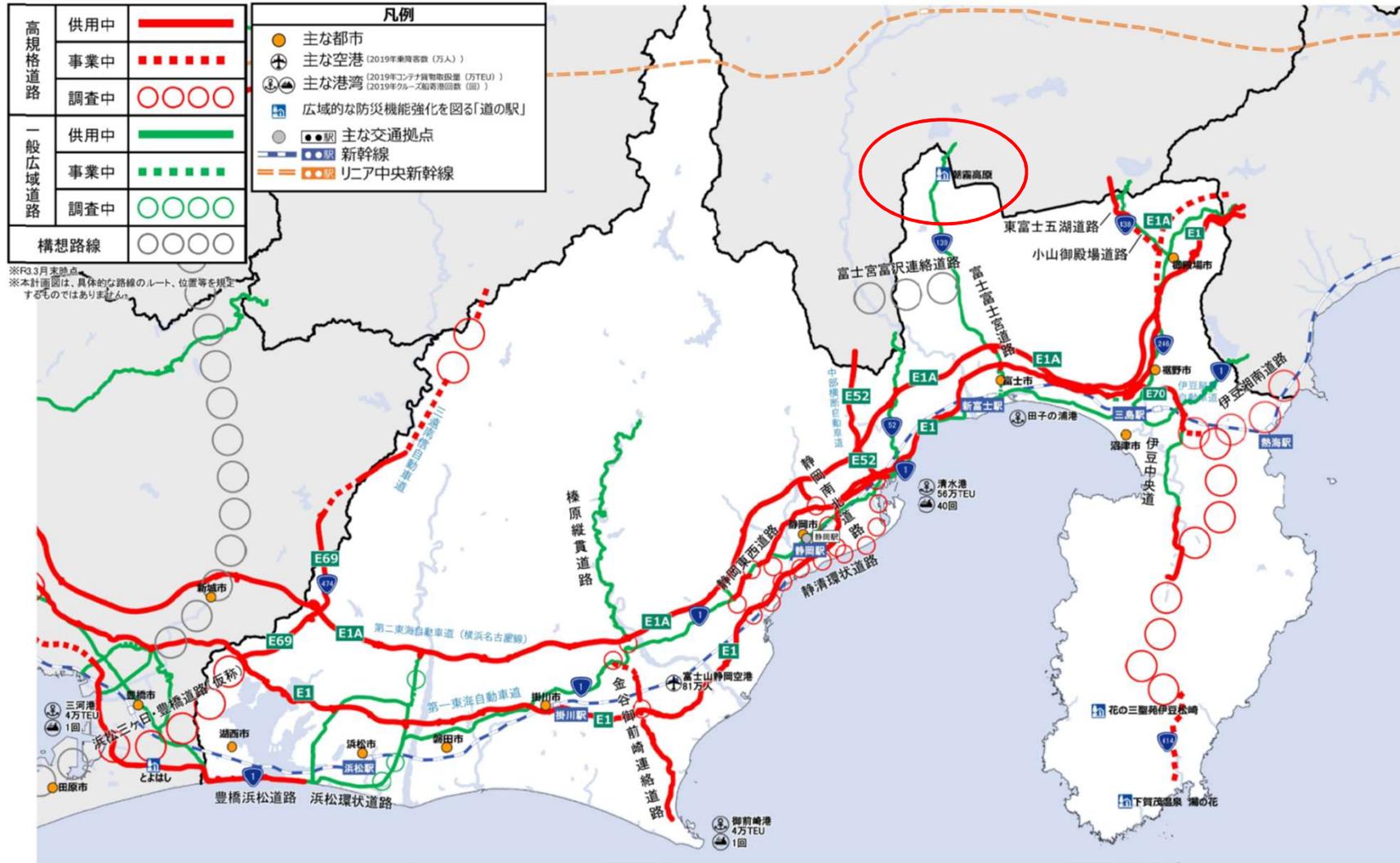


■災害用トイレ設置訓練⑤

※令和2年10月 中部地方幹線道路協議会(静岡県地区会議)資料

中部ブロック新広域道路交通計画 広域道路ネットワーク計画における位置付け

■ 中部ブロック 広域道路ネットワーク計画図(静岡県拡大図)



※令和3年3月30日 中部ブロック新広域道路交通計画

道の駅「朝霧高原」の施設

《売店》



- ・富士宮市や静岡県の特産品や名産品を取扱い

《レストラン》



- ・富士宮市周辺の素材を利用

《情報提供コーナー》



- ・2台のモニターを設置し、道路通行規制情報、災害情報、観光情報等を提供
- ・ポスター、パンフレットによる観光情報の提供。

《トイレ》



- ・男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレを設置

野菜直売市、観光の取組

【地域経済】

- ・ 地場産品を多く取り揃えています。
- ・ 特に、野菜は安全安心な地元農家からの直送、全品買取で安く提供している野菜直売市を毎日開催しています。

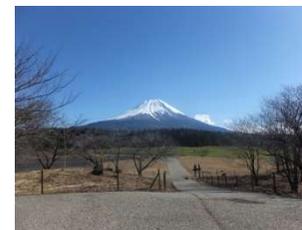
《野菜直売市》



【観光】

- ・ 隣接する富士山展望台からは、雄大な富士山が望め、あさぎりフードパークでは、富士宮市の食と文化が楽しめます。
- ・ 周辺には東海自然歩道や毛無山などがあり、富士山の眺望にも優れ、多くのハイカーや写真愛好家に親しまれています。

《展望台からの眺望》



《あさぎりフードパーク》



《サインによる案内》



《ハイキングコース》



子育て支援、道路協力団体の取組

【子育て支援】

- ・令和2年3月に子育て支援のために最新の授乳室を導入
- ・授乳室は完全個室で施錠するとモニターによる案内がスタート。授乳室の近くには「子育て支援自販機」も設置
- ・令和元年度に屋根付き駐車場を設置

《完全個室の授乳室、子育て支援自販機》



《屋根付き駐車場の設置》



【道路協力団体の取組み】

- ・富士山朝霧高原景観管理協議会は平成26年に設置され、自治会を中心に地元企業・NPO等約20名で構成。
- ・平成28年12月に道路協力団体に指定され、世界文化遺産である富士山麓の道路景観維持を目的とした清掃活動・修景活動のほか、募金活動および活動応援自動販売機を設置。収益により道路の維持・管理を充実。



(1号業務) 道路清掃



(2号業務) 活動応援自動販売機設置



新型コロナウイルス感染症への対応

【新型コロナウイルス感染症の影響に対応するための沿道飲食店等の路上利用】

- ・ 国交省では、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等を支援するための緊急措置(コロナ占用特例)として、テイクアウトやテラス営業などを行う際の道路占用における許可基準を緩和。
- ・ 静岡国道事務所では、令和3年9月1日に中部地方整備局が管理する国道で初めてコロナ占用特例による道路占用を道の駅「朝霧高原」で許可。

設置イメージ

